日本の信頼性学会
第18回秋季信頼性シンポジウムプログラム

日時：2005年11月18日（金）10:00～19:30
会場：（财）日本科学技術連盟東高円寺ビル：東京メトロ丸の内線東高円寺駅下車徒歩約5分

<table>
<thead>
<tr>
<th>第1会場（地下1階講堂）</th>
<th>第2会場（3階A室）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>セッション1（組織、管理、一般）</td>
<td>セッション4（安全性1（システム安全性、規格））</td>
</tr>
<tr>
<td>司会：塚野 増</td>
<td>司会：鈴木 浩一</td>
</tr>
<tr>
<td>10:00～10:25 生産の視点から見た信頼性技術の構造</td>
<td>壓力センサにおける不具合時の挙動をとその危険源に関する考察</td>
</tr>
<tr>
<td>10:25～10:50 ライフサイクルコストの観点について</td>
<td>森山 晉（長崎技術科学大学）</td>
</tr>
<tr>
<td>10:50～11:15 ライフサイクル・コストと非財務指標の関係性</td>
<td>IEC国際規格におけるHAZOPシステムの要項とその適用例</td>
</tr>
<tr>
<td>坂谷 光（東京工科大学）</td>
<td>（IECディメンタリティ規格研究会報告）</td>
</tr>
<tr>
<td>中島洋行（明治大学経営学部）</td>
<td>国藤 隆（東日本旅客鉄道株式会社）</td>
</tr>
<tr>
<td>11:15～11:40 赤外線温度測定装置を用いたプリント基板の検査方法の検討</td>
<td>久遠 信俊（千代田アドバンスト・ソリューションズ）</td>
</tr>
<tr>
<td>安達 健二（東芝）</td>
<td>信頼性と安全性の一考察</td>
</tr>
<tr>
<td>11:40～12:30 午食</td>
<td>山本正宜（株）シグナルコンサルタント</td>
</tr>
<tr>
<td>12:30～12:40 会長挨拶</td>
<td>午食</td>
</tr>
<tr>
<td>中村 英夫会長</td>
<td>休憩</td>
</tr>
<tr>
<td>14:10～14:40 特別講演</td>
<td>休憩</td>
</tr>
<tr>
<td>「宇宙開発における信頼性」下平 勝幸 氏</td>
<td>休憩</td>
</tr>
<tr>
<td>司会：塚野 増（日本電機品信頼性センター）</td>
<td>休憩</td>
</tr>
<tr>
<td>14:20～14:45 円形の監視エリアを持つセンサーを用いた多重監視保全の一考察</td>
<td>ロータリー複合加工機の開発とその安全対策</td>
</tr>
<tr>
<td>河野 真治（電信通信大学）</td>
<td>高野 泰夫（長崎技術科学大学大学院）</td>
</tr>
<tr>
<td>14:45～15:10 無線を利用した物流システム（ATACS）の信頼性解析</td>
<td>油圧ショベルにおける危険源の同定例とその適性の考察</td>
</tr>
<tr>
<td>渡邊 貴志（九州大学研究開発センター）</td>
<td>杉 明（長崎技術科学大学）</td>
</tr>
<tr>
<td>15:10～15:35 IEC規格におけるHAZOPシステムの要項とその適用例</td>
<td>サービス用ロボットにおける安全の一考察</td>
</tr>
<tr>
<td>平木 哲男（日本大学大学院）</td>
<td>井手 真男（長崎技術科学大学）</td>
</tr>
<tr>
<td>15:35～16:00 NXPシステム設計問題の解決に関する手法の開発による解研究論リズム</td>
<td>パワーアンプロボットの安全性理論</td>
</tr>
<tr>
<td>山地秀美（日本工業大学）</td>
<td>杉原 健治（明治大学）</td>
</tr>
<tr>
<td>16:00～16:10 休憩</td>
<td>休憩</td>
</tr>
<tr>
<td>セッション3（理論、数値的技法、統計的解析）</td>
<td>セッション6（安全性3）</td>
</tr>
<tr>
<td>司会：石田 勉</td>
<td>司会：宮地 由香子</td>
</tr>
<tr>
<td>16:10～16:35 セラミックス試験片へのワイプリ母数推定のための一考察</td>
<td>環境 EMEA の一提案</td>
</tr>
<tr>
<td>渡辺 康雄（電信通信大学）</td>
<td>小林 広明（帝京大学）</td>
</tr>
<tr>
<td>16:35～17:00 多相態を有するエッジから構成される散乱システムにおける</td>
<td>公共職業訓練施設における安全教育の現状と課題</td>
</tr>
<tr>
<td>史島 昭（山形工業高等専門学校）</td>
<td>太田 和利（長崎技術科学大学）</td>
</tr>
<tr>
<td>17:00～17:25 セミフラットリテックモデルに基づく加速試験データのベイズ解析</td>
<td>理論モデルの熱伝導伝導シスメステムへの適用例</td>
</tr>
<tr>
<td>張 嵐（兵庫県立大学）</td>
<td>小林 孝之（日本信号株式会社）</td>
</tr>
<tr>
<td>17:25～17:50 保持条件の検討－オーバーパワーホールによるの場合の検査状況割算</td>
<td>オプジェクト指向プログラミングを適用した軌道制御</td>
</tr>
<tr>
<td>角原 唯晴（水建建設）</td>
<td>シミュレーション手法の開発</td>
</tr>
<tr>
<td>18:00～19:30 情報交換会</td>
<td>前 友章（大同信号株式会社）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

発表者のみ記載しています。報文集に掲載の際は共著者名も記載します。
発表題目の変更がある場合は報文集で訂正させていただきます。また、各会場は都合により変更することがございます。

REAJ誌 2005 Vol.27, No.7(通巻147号)

NII-Electronic Library Service